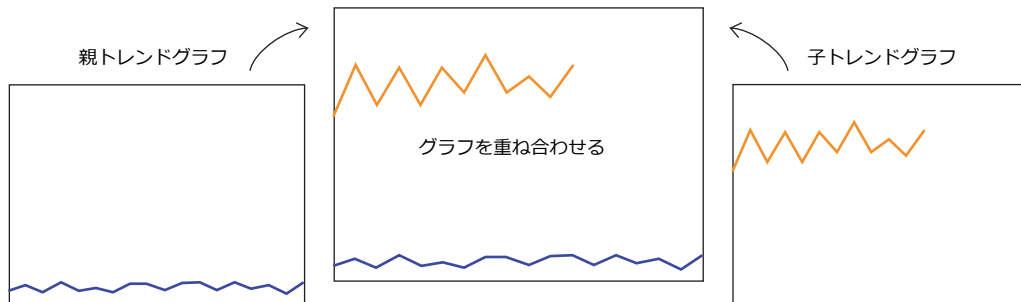


### 7.3.5 複数のトレンドグラフの非同期表示

1つのグラフ領域に対して【制御デバイス】は1ワードのため、折れ線は全て同じタイミングで同じポイント分、描画されます。複数の折れ線を異なるタイミングで描画するには、重なりあった2枚以上のグラフをリンクさせることで、【制御デバイス】の優先順位を決めることができます。



#### 設定手順

2つのトレンドグラフを非同期で描画する場合を例に説明します。

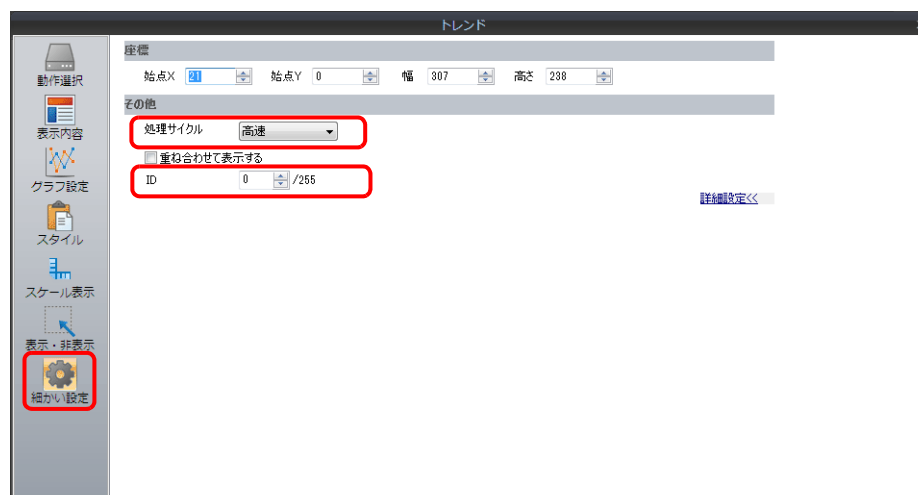
1. トレンドグラフを2つ配置する

☞ [「7.3.1 設定箇所」P 7-29](#) を参照。

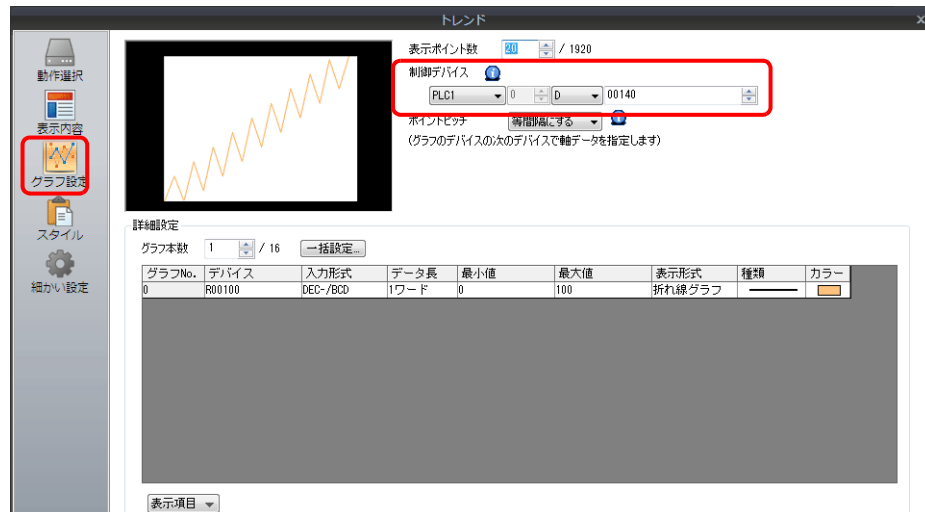
2. 1つのトレンドダイアログの【グラフ設定】→【制御デバイス】をD120に設定する



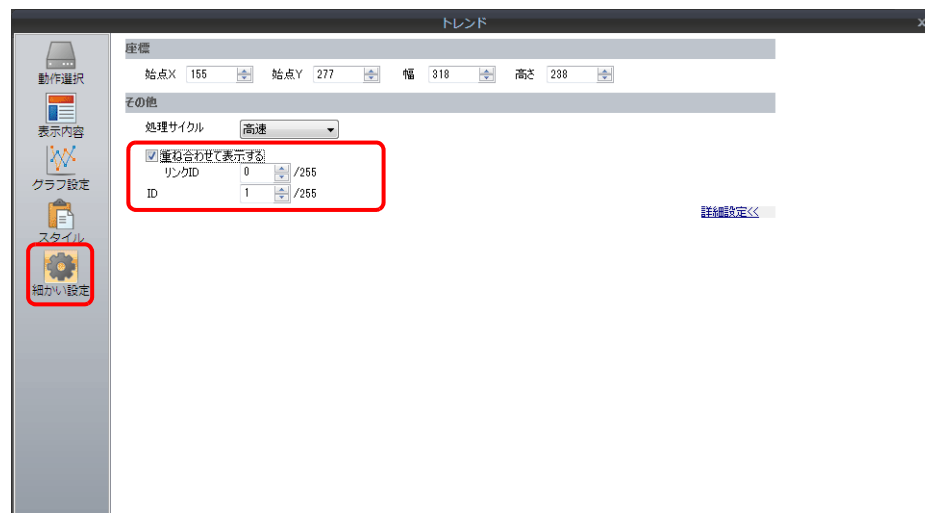
3. 【細かい設定】→【処理サイクル: 高速】、「ID: 0」に設定する (= 親トレンドグラフ)



4. もう1つのトレンドダイアログの [グラフ設定] → [制御デバイス] を D140 に設定する



5. [細かい設定] → [処理サイクル: 高速]、[重ね合わせて表示する リンク ID : 0] に設定する (= 子トレンドグラフ)



6. 親トレンドグラフ (制御デバイス D120) を子トレンドグラフ (制御デバイス D140) の下に配置し、2つ重ね合わせる

以上で設定完了です。

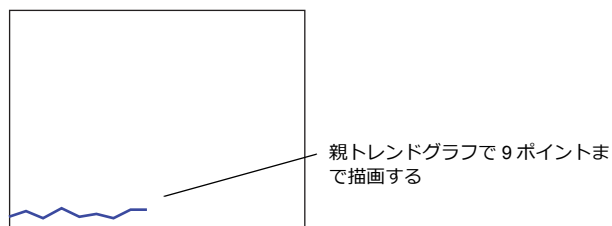
D120 (親トレンド) の制御デバイスで描画します。

表示は、「7.3.4 表示方法」P 7-38 を参照。

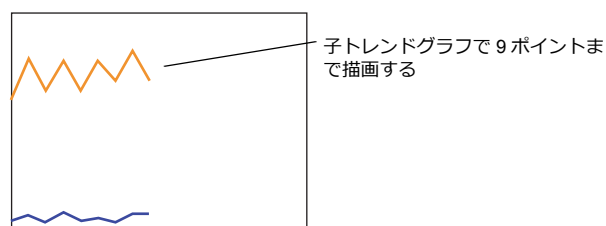
## 表示方法

「設定手順」P 7-39 を例に 2 個のトレンドグラフを描画させる場合を例に説明します。

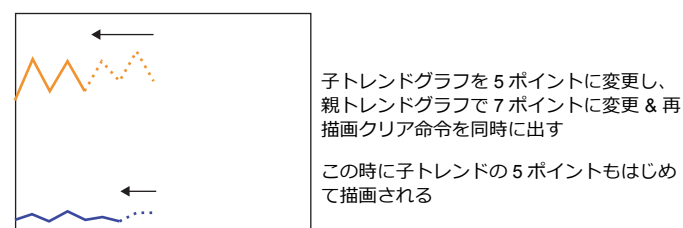
1. D120 = 9H (実行ポイント数) をセットする



2. D140 = 9H (実行ポイント数) をセットする



3. D140 = 5H (実行ポイント数) をセットし、D120 = 8007H (再描画クリア & 実行ポイント数) をセットする



## 設定上の注意点

- リンクさせる場合、1 枚のトレンドグラフを「親」、それ以外のトレンドグラフを「子」と考えます。「子」側のトレンドグラフで、[細かい設定] → [重ね合わせて表示する] にチェックし、親の ID No. を設定します。これにより、「子トレンドグラフ」の「再描画」&「再描画クリア」命令は無視され、「親」トレンドグラフの[制御デバイス]からのみ受付可能となります。
- 重なり合うトレンドグラフは全て【処理サイクル：高速】に設定してください。
- 本体に表示されるトレンドグラフの領域属性は「親」トレンドグラフのみです。「子」トレンドグラフの領域属性は表示されません。また「子」トレンドグラフの目安線も無視されます。
- 「親」トレンドグラフは、「最前面へ移動 / 最背面へ移動」アイコンを使用して、「子」トレンドグラフの下に配置してください。上に配置すると正常にリンクされません。

